



# くりしま

## 《本園の教育目標》

- 元気がある ○自分のことは自分でする
- 仲良く遊ぶ ○ものごとに興味・関心をもつ
- 思ったことを話し、人の話を聞く
- 体験や考えに感動する ○工夫して表現する

[《栗島幼稚園ホームページ》](#)

栗島幼稚園

検索

《Instagram》

kurishima1955

## 『理解すること、支えること』～「ティーチプログラム(TEACCH)」について～



園長 矢田 泰久

園では、一人ひとりの子どもが安心して過ごし、自分らしく力を発揮できる環境づくりを大切にしています。このことで参考になる考えに「ティーチプログラム（以下、ティーチ）」があります。これは、発達に特性のあるお子さんへの支援として始まった療育プログラムですが、実はすべての子どもの育ちに役立つ視点が多く含まれています。

ティーチの大きな特徴は「子どもを変えようとする」のではなく、「子どもが理解しやすい環境を整える」という考え方です。私たち大人にとっては当たり前のこともあります。子どもにとっては「何をするのか」「いつ終わるのか」「次は何があるのか」が分からず、不安になってしまいますことがあります。その不安が、落ち着きのなさやかんしゃくなどの行動として表れることも少なくありません。

そこでティーチでは、見て分かる工夫を大切にします。例えば、一日の流れを絵や写真で示す「スケジュール」、遊ぶ場所や活動ごとのスペースを分ける「環境の構造化」、やることの手順を順番に示したり時計の長い針の位置を示したりする「視覚的な手がかり」などです。これらは日々の保育実践で普段から行っていることですが、言葉だけで伝えるのではなく、目で見て理解できるようにすることで、子どもは安心し自分から動きやすくなります。

また、「できないこと」ばかりに目を向けるのではなく、「どうすればできるようになるか」を考えるのも大切な視点です。課題を小さなステップに分けたり、その子に合った方法に変えたりすることで、成功体験を積み重ねられるようにします。この積み重ねが、「やってみよう」という意欲や自信につながっていきます。

園では常日頃から、活動の流れを分かりやすく示したり、持ち物の置き場所を決めたりするなど、子どもが見通しを持てる環境づくりを心がけています。これは特別な支援が必要なお子さんだけでなく、すべての子どもにとって安心できる土台となるものです。

子どもたちは「分かる」ことで落ち着き、「できる」ことで自信を育てていきます。二月も園では、一人ひとりの特性を大切にしながら、子どもが安心して成長できる環境づくりに努めてまいります。ご家庭でも予定を伝えるときに、言葉だけでなく絵や写真を使うなど、できることから取り入れてみていただければ幸いです。厳寒の折、引き続き感染症対策に努めてまいります。

## 【1/9（金）避難訓練 消防車見学】



## 【 1/24 (土) 作品展示会 】



＜ひよこ組・あっぷる教室作品＞



＜年少組作品＞



＜年中組作品＞



＜年長組作品＞

## 【 2/3 (火) 豆まき 】春の訪れ



## 【 2月の主な行事 】

3日 (火)	豆まき、
4日 (水)	午前保育、個人面談③
5日 (木)	たのしいコンサートリハーサル
10日 (火)	豆まき
11日 (水)	建国記念の日
12日 (木)	たのしいコンサート
14日 (土)	第71回創立記念日
17日 (火)	1/2/3月お誕生日会、
18日 (水)	年少英語参観
23日 (月)	天皇誕生日
24日 (火)	年長お別れ遠足、
25日 (水)	午前保育、年長組懇談会
28日 (土)	新入園児一日入園